

東京都産業連関表の特徴

産業連関表は、1年間における財・サービスの産業間等における取引を一覧表にまとめた統計表です。経済波及効果分析や産業構造分析など、経済や産業の分析に幅広く利用されています。

東京都産業連関表には、地域間表の作成、本社部門の設定、移動消費部門の設定の3つの特徴があります。

01 産業連関表とは？

産業連関表とは、一定地域（東京都）・一定期間（1年間）において、財・サービスが産業部門間や産業部門・最終需要間で、どのように生産され販売されたかについて、行列の形式で一覧表にとりまとめたものです。

		中間需要						最終需要		(控除) 移輸入	都内 生産額
		産業1	産業2	産業3	...	産業n	本社	都内最終需要	移輸出		
		消費	投資								
中間投入	産業1 産業2 産業3 ⋮ 産業n 本社	A						B			
粗付加価値	雇用者所得 営業余剰 資本減耗引当 ⋮ ⋮	C									
都内生産額											

生産費用の構成

販売先の構成

A: 原材料等として購入又は販売
B: 家計、企業、政府等による消費・投資額
C: 生産に必要な要素費用(労働や資本、間接税等)

この表を列の方向（縦）に読むと、上の各産業が生産物を生産する際のコスト（中間投入された原材料等や粗付加価値）の構成が分かり、行方向（横）に読むと、左の各産業が生産した生産物の販売先の構成（中間需要や最終需要等）が分かります。

02 東京都産業連関表の特徴

東京都産業連関表は、他道府県の産業連関表と同様に全国表に基づいて作成していますが、東京都経済の実態をより的確に表すため、以下の独自の工夫を行っています。

このことにより、東京都の産業構造をより正確に把握し、また東京都における経済波及効果をより正確に分析することが可能となります。

東京都の経済の特徴

東京都と東京都以外の地域との相互依存



本社機能の集積



通勤・通学・観光など都外からの昼間流入



東京都産業連関表の特徴

地域間表の作成

東京都と46道府県の取引の実態を可視化

本社部門の設定

本社部門と財・サービスの生産部門の取引の実態を可視化

移動消費部門の設定

人の移動に伴う取引の実態を可視化